

**1. 管理運営業務の基本方針について****(1). 重点項目****(2). 数値目標****1. 施設の管理運営に対する基本的考え方**

地区センターが「地域住民の自主的な活動」及び「相互交流を深める」場として有効的に活用されること、すなわち「地域における連帯感」「相互扶助の機能」「高齢者や子育て家族に対する支援」「環境保全」「防災・防犯」などの住民生活に直結するさまざまな課題を、住民が主体となって解決する地域コミュニティの場として位置づけ活性化してゆきます。

中区施策である『こどもが健やかに育つ環境づくり』『高齢者・障害者などの要援護者サービスの充実』『地域の知恵と力を生かした防犯力・防災力・安全力の向上』『親しまれ、信頼される区役所づくり』『地域資源と市民の力による地域の活性化』『行政・区民の連携によるまちの美化・環境対策の推進』、そのような『安全なまち 安心な暮らし 活力あふれる中区』を区民と協働で創出し、地域住民と行政、清光社の3者連携体制を軸とした管理運営を実施します。

**(1). 重点項目****ア. 「地域住民の自主的な活動」をサポートします。**

既存の地域コミュニティを含めた地域住民の自主的な活動が、発展向上するようなサポートを行い、中区及び本牧地区の課題やニーズに取り組む新たな地域コミュニティを創出します。また、中区だけではなく、弊社の指定管理施設や連携施設を有効に利用し、幅広く展開するためのサポートや連携団体との協力により、アウトリーチ活動を積極的に実施します。

**イ. 誰もが立ち寄れる「ぷらっとホーム」を目指します。**

乳幼児から高齢者の方まで気軽に立ち寄り、「出会い」「生きがい」が生まれ、利用者の方の経験や知識が有用に生きるような相互交流の場の創出を心がけます。

**ウ. 区民の方と協働で「安全なまち 安心な暮らし 活力あふれる中区」を実現します。**

行政機関と連携した幅広い職務知識の習得を行うことにより、区政方針・区の施策を反映した事業展開を行い、地域住民と一緒に、防災・防犯等をはじめとする地域の課題を解決します。また、地域住民からの要望や課題を行政機関や周辺施設と連携することにより、新たな中区の課題を提示し、迅速な課題解決を行います。

**(2). 数値目標**

利用料金収入予算を平成23年度予算から2%向上とし、利用率向上を目指すとともにニーズ対応への割り当てを増やします。

施設職員による防災訓練と近隣施設と連携した防災訓練を年間で2回実施し、大規模災害への備えと災害に強いまちづくりを推進します。

**2. 組織体制**

- (1). 運営管理に必要な組織、人員体制
- (2). 個人情報保護等の体制と研修計画
- (3). 緊急時の体制と対応計画

**2. 組織体制****(1). 運営管理に必要な組織、人員体制**

- ア. 館長 1 名、主任 2 名の常勤者を配置し、コミュニティスタッフとして、美化スタッフを含めた 14 名により管理します。
- イ. スタッフは半月ごとの交代勤務とし、午前・午後・夜間の区分ごとに 2 名を配置します。交代時には、スタッフが引き継ぎ業務を実施するために、重複して配置いたします。常勤職員については、各時間帯に最低でも 1 名を配置し、館の円滑な運営管理を実施します。

**(2). 個人情報保護等の体制と研修計画**

「個人情報取扱事業者」として、「個人情報保護マネジメントシステム」の活用により、地区センター運営および自主事業における個人情報の保護を徹底することを基本方針とします。

**ア. 法律・条例に則った個人情報保護の徹底**

「個人情報取扱事業者」として「個人情報保護に関する法律」および「横浜市個人情報の保護に関する条例」を遵守し、個人情報を適正に取扱います。また、守秘義務に関しても職員への周知・徹底を継続します。

**イ. 本牧地区センター個人情報取扱マニュアルの作成・活用**

「個人情報保護マネジメントシステム」より「本牧地区センター個人情報取扱マニュアル」を作成し、職員への周知徹底と定期的な見直し・改善を行い、個人情報保護を徹底します。

**ウ. 個人情報保護管理における責任者の設置と取扱体制の構築**

館長を個人情報保護責任者とした上で、取扱担当者を決定し、個人情報の保管期間、保管方法、および消去方法等の措置について、館長から取扱担当者に指示します。また、統括担当者による抜き打ちチェックを実施し、管理の徹底を図ります。

**エ. 職員研修及びミーティングを休館日に実施します。**

教育プログラムに基づく社内外講習・資格取得・多様な施設間交流講習・効果測定を実施します。(接遇研修・個人情報保護管理研修・指定管理講習会・人権研修・他施設研修等)

**(3). 緊急時の体制と対応計画****ア. 事故、災害時の危機管理対策の基本的な考え方**

利用者の安全確保を最優先とし、訓練・研修により職員の危機対応能力を高めるとともに、事前および事後の対策を強化することにより、不測の事態への備えを強化します。さらに、利用者様への被害を回避する観点から、建築物の日常点検や早期修繕の徹底を図ることを基本的な考え方とします。

**イ. 利用者安全の最優先**

事故・災害時等においては、利用者の避難、誘導、安全確保を第一とし、『横浜市防災計画（震災対策・風水害対策・都市災害対策）』『国民保護計画』および『災害時等における施設利用の協力に関する協定』『横浜市指定管理者ガイドライン』、『中区防災計画』『指定管理者災害対応の手引き』を全職員が十分に把握し、行動します。

**ウ. 職員の危機対応能力向上および事前・事後の対策強化**

「本牧地区センター危機管理マニュアル」を作成し、研修により周知・徹底を図り、防災訓練・事故対応訓練等を強化することによりマニュアルの見直しや改善の継続を行い、危機管理能力を更に高めます。

**エ. 緊急、災害時等の施設破損等を最小限に抑える施設管理**

災害時等において、建築物の損傷による利用者への被害を避けるとともに、人命救助などの地域支援活動に支障をきたさないよう、建築物の日常点検、早期修繕及び予防保全の徹底を図ります。

**オ. 災害時等における対応策****(ア) 初動対応**

利用者の安否確認と避難・誘導による安全確保を実施するとともに、横浜市及び中区担当窓口への連絡、災害時のレベルに準拠した運営委員および勤務時間外職員の参集を行い、救援活動拠点機能を維持します。

**(イ) 二次災害の防止**

建物・構築物および樹木の倒壊防止、火災・延焼の防止とともに、危険が周囲に及ぶ可能性のある場合には、周辺住民への危険周知や避難の要請、行政当局や外部技術者等への連絡およびそれらと連携した対応を実施します。

**3. 施設の運営計画**

- (1). 地域との連携に関する計画について
- (2). 広報及び利用促進策について
- (3). 利用料金の設定について
- (4). 利用者ニーズの把握と運営への反映方法
- (5). ニーズ対応費の使途について
- (6). 個人や団体に対する相談、調整、助言等について
- (7). その他利用者サービス向上の取り組みについて

**3. 施設の運営計画****(1). 地域との連携に関する計画について**

地区センターの設置理念を反映した本牧地区センター管理運営方針に基づき運営業務を実施するとともに、「地域力」推進事業を実施し、地域の持つポテンシャルや住民の方々の力によって、地域問題を解決できる地域コミュニティの創出を目指します。また、地区センターの機能及び利用者の利便性を向上させるイベントやサービスを、障害者通所施設・中図書館などの近隣施設や地域で活動する各種団体と協働で実施することにより、地区センターの利用促進及び地域課題の解決を行います。

その他、「できることから始めよう」を合言葉に、地区センターから社会貢献活動の発信、アウトリーチ活動の実施により、地域交流を深めます。

**(2). 広報及び利用促進策について**

広報活動は「広報区版」を基本に、「タウンニュース」「区役所での広報」等のほか、地区センターだより及びデジタルインフォメーションを取り入れ、双方向に渡り、情報が行き渡るように展開活動を行います。

利用促進策については、音楽室・料理室・和室などの本来持つ特徴を活かした事業を推進しながら多くの方に部屋の利用方法を知っていただきます。更に、ニーズの把握を行い、気軽に立ち寄れる雰囲気作りにより、稼働率の向上及び個人利用増加を促します。また、利用者の要望を検討した結果、施設の構造上の問題や設置趣旨を考慮し、実施不可能と判断された場合には、代替サービスを実施し、利用促進につなげます。

**(3) 利用料金の設定について**

利用料金は現行の料金設定（下記表）を継続し運用します。

自主事業の参加料金におきましては、材料費や講師料等のバランスを考慮して、参加しやすい料金設定を行います。また、幼児や小中学生等を対象とした事業の参加費に関しては、できるだけ参加費を徴収しない方向で設定し、利用機会の拡充を図ります。

## 利用料金設定

室名	1 コマ 時間数	利用料金		定員
			日曜・祝日の午後②	
小会議室	3 時間	510 円	340 円	18 名
中会議室	3 時間	960 円	640 円	48 名
工芸室	3 時間	480 円	320 円	18 名
音楽室	3 時間	1,650 円	1,100 円	60 名
料理室	2 時間	640 円	640 円	24 名
和室	3 時間	1,140 円	760 円	36 名
和室 (分割利用)		570 円	380 円	
体育室 (全面)	3 時間	1,830 円		
体育室 (2/3 面)		1,200 円		
体育室 (1/3 面)		600 円		

**(4) 利用者ニーズの把握と運営への反映方法**

利用者ニーズを正確に把握するために、様々な場所・時間そして人から数多くの要望を受け取る体制を構築するとともに、収集した情報を分析・評価・検討することにより、あらゆる角度から実現の可能性を模索し、実施する体制を構築いたします。

**ア. 地域・利用者ニーズの把握**

地区センターアンケート・ホームページのお問合せ・「生の声」・定期的な座談会・横浜市民の声・市及び区の施策、統計・利用者会議・地区センター運営会議等、様々なものからニーズを把握いたします。

**イ. ニーズへの対応**

地区センターにおいて実施計画を策定し、区と十分な協議を重ね、地区センター運営会議及び利用者会議に諮ります。賛同が得られたものについては、実施計画を基本にニーズへの対応を迅速に実施します。賛同が得られなかったものについては、代替案を策定し、再度、ニーズへの対応を図ります。

実施不可能な案件に関しては、実施できない背景とその意義を地区センター内に掲示することにより理解を求めます。

**ウ. 事業展開への具体的反映**

事業者が一方的に計画立案するだけでなく、事業によっては、事業組み立ての段階から、運営委員会を立ち上げ、地域住民等を巻き込みます。事業立案そのものも事業の中に組み込んで計画してゆきます。

**(5) ニーズ対応費の使途について**

ニーズ対応費は、市民の自主的な活動を応援するために、設備・備品等を整備するお金です。緊急での使用以外は、地区センターの趣旨に沿っているかどうか、その持ち込まれたニーズが賛同を得られるかどうかを調査し、適切に使用します。また、地区センターの利用状態を考慮した優先順位をつけ、計画的な利用を行います。優先順位は「現在使用しているもので、更新が必要な物」「設備の緊急修繕」「新規ニーズ対応への備品購入」の順とし、「新規ニーズ対応への備品購入」に関しては、要望の多さ利用頻度などを的確に捉え執行します。

**(6) 個人や団体に対する相談、調整、助言等について**

悩みや勉強等の相談が家族のようにできる「暖かい空間」、高齢者や障害者が安心して利用できる「サービス介助」を実施するために、清光社教育プログラムに基づく社内外講習・資格取得・多様な施設間交流講習・効果測定を実施します。

団体においては、自主的な活動及び相談、広報支援を行い、幅広い活動のサポートを行うとともに、地区センターで実施する自主事業を協働で行い、一体となって地区センターを盛り上げます。また、地域住民のニーズに対応した自主事業を開催することにより、新たなコミュニティ創造の可能性を高めます。このため、計画した自主事業を、その時点でのニーズに対応するために適宜変更し、より効果的に実施します。

**(7) その他利用者サービス向上の取り組みについて**

地区センターの機能及び利用者の利便性を向上させるため、「オリブ工房」「中図書館」と定期的な連絡会を実施することにより、地区センターの利用促進及び地域課題の解決を行います。また、地元自治会代表者や地元で活動する団体代表者で構成する「地域連絡会」を開催において、地域課題を踏まえた連携事業や地区センターでできること・やってほしいことを議論し、取り組むことで地域交流を深めます。

**4. 施設の維持管理計画****4. 施設の維持管理計画**

「便利で楽しめる『利用者サービス』」、「何度も足を運び、笑顔がこぼれる『ホスピタリティサービス』」、「快適に施設を利用できる『快適な空間の創造』」を軸に利用促進活動を展開し、人が自然と集まり、会話がはずむような、地域のシンボルとなる地区センターを目指します。また、本牧地区センターの利用統計を参照し、稼働率が低い部屋及び時間帯、時期の分析を行い、利用率向上のための利用者サービスを順次実施してまいります。

**(1). 施設の効率的な運営のための計画について**

3つのマネジメントシステム【ISO9001 品質マネジメントシステム】【ISO14001 環境マネジメントシステム】【OHSAS18001 労働安全マネジメントシステム】の手法とPDCAを活用したスパイラルアップを図り、継続的な業務改善実施と管理運営業務の効率化・効果の最大化を図ります。

**(2). 施設の維持管理について**

「快適であり」「安全であり」かつ「安心である」環境を提供するために、常に利用者の視点に立ち、高齢者や障害者等の利用も考慮し、「ノーマライゼーション」を意識した維持管理を行うことを軸に、「快適な空間の創造」を目指します。

中図書館との連絡調整を密にした施設管理を「維持管理業務一覧」に則して実施し、予防保全の観点から日常巡視や定期巡視の実施により施設の長寿命化を図るとともに、危険箇所の特定制、リスク分析、改善を行います。

修繕に関しては、必要箇所の特定制による一覧表を作成し、緊急性や安全性、利便性、快適性を考慮して計画的に実施します。

維持管理業務一覧(本牧地区センター)

	業務	内容	頻度	分担	根拠
電気・機械設備	建物設備維持管理	包括管理・運転監視・日常巡視点検	毎日	※	
	設備総合巡視点検	設備巡視点検	1回/月	※	
	電気設備点検(高圧受電以上)	巡視点検	1回/月	※	電気事業法上の電気主任技術者業務
		定期点検	1回/年	※	関東電気保安協会等による委託
	非常用発電機点検	定期点検	2回/年	※	消防法上、電気事業法上の点検 専門メンテナンス業者による委託
	中央監視装置点検	定期点検	1回/年	※	規模の大きな施設の場合の監視制御装置の専門メンテナンス業者による委託
	空調自動制御点検	定期点検	2回/年	※	空調自動制御の専門メンテナンス
	空調設備点検	巡視点検	1回/月	※	巡視点検 フィルターの清掃 設備巡視点検業者
		定期点検	2回/年	※	夏冬切替 空調の専門メンテナンス
	熱源機器等点検	定期点検	2回/年	※	冷温水器・ターボ冷凍機・ヒートポンプ・冷却塔・蓄熱槽等
建築設備	定期点検	1回/年	※	建築基準法第12条に基づくもの	
衛生管理	受水槽高架水槽清掃	定期清掃	1回/年	※	水道法及びビル管理法により
	飲料水水質検査	検査	2回/年	※	ビル管理法により その他大腸菌検査(1回/2月)
	残留塩素検査	検査	1回/週	※	ビル管理法により
	空気環境測定	測定	1回/2月	※	ビル管理法により
	害虫駆除		2回/年	※	ビル管理法により
	汚水槽・雑排水清掃	定期清掃	2回/年	※	ビル管理法により
	ウォータークーラー	水質検査	1回/年	○	健康福祉局より指導
	レジオネラ菌分析	水質検査	1回/年	※	健康福祉局より指導 冷却塔の水質検査
	グリストラップ等の清掃	定期清掃	4回/年	○	厨房などの排水設備の清掃
	建築設備	定期点検	1回/年	※	建築基準法第12条に基づくもの
建物等	消防用設備点検	定期点検	2回/年	※	消防法上の点検・消火器の詰替え(1回/5年) 消防設備点検資格業者による点検
	防火対象物定期点検	定期点検	1回/年	※	消防法第8条の2の2に基づくもの
	放送設備点検	定期点検	1回/年	※	放送設備の専門メンテナンス
	ガス監視装置点検	定期点検	1回/年	※	ガス漏れ警報機の専門メンテナンス
	電話交換機点検	定期点検	1回/月	※	交換機の専門メンテナンス、電話も含む
	昇降機点検	定期点検	1回/月	※	法令点検 エレベータ・エスカレータ等の専門メンテナンス業者による委託
		定期点検	1回/年	※	建築基準法第12条に基づくもの
	自動ドア点検	定期点検	4回/年	※	自動ドアの専門メンテナンス
	監視カメラ点検	定期点検	1回/年	○	監視カメラの専門メンテナンス
	舞台音響設備点検	定期点検	2回/年	○	音響装置の専門メンテナンス
	舞台設備点検	定期点検	2回/年	○	舞台設備(照明・緞帳等)の専門メンテナンス
	非常通報装置点検	定期点検	2回/年	※	装置の専門メンテナンス
	機械警備点検		常時	※	夜間時や休庁時の警備を自動通報装置にて警備会社へ連絡する
建築物建物点検	定期点検	1回/3年	※	建築基準法第12条に基づくもの 敷地、構造に関する定期点検	
清掃等	清掃業務	日常清掃	毎日	○	場内、庁舎内の清掃、ガラス清掃、外溝・排水ます清掃
		定期清掃	1回/月	※	照明器具清掃
	植栽剪定・草刈		2回/年	※	剪定・除草
	小破修繕		随時	○	

- \* 上記点検以外に施設に特種な設備がある場合は必要に応じて点検を行う。
- \* 点検回数は法的制約以外は目安であり施設規模や機器によって異なる。
- \* ビル管理法については特定建築物(3,000㎡以上)に該当する。
- \* 分担欄の※印は原則中図書館(教育委員会)所管。



## 平成24年度 自主事業計画書

	事業名	①募集対象	④実施時期	自主事業予算額					
		②募集人員	⑤回数	総経費	収入		支出		
		③一人当たりの参加費			委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
1	ポディーコンディショニング Aストレッチコース	一般	4月～	360,000	180,000	180,000	360,000	0	0
2	ポディーコンディショニング Bコース (スロー筋肉トレーニング)	30							
3	ポディーコンディショニング Cコース(氣功)	500							
4	本牧メンズスタイル	一般	12	5,000	5,000	0	0	0	5,000
		10							
		0							
5	異文化交流ステーション ①料理編	一般	5月～	108,000	0	108,000	48,000	60,000	0
		18							
		1,000							
6	ヴォイストレーニング	一般	4月～	180,000	0	180,000	180,000	0	0
		20							
		500							
7	シルバーエイジ革命 輝けるシルバーエイジハ	一般	6月～	138,000	48,000	90,000	48,000	90,000	0
		15							
		1,000							
8	伝統継承プログラム カルチャー編 その1茶道教室	一般	5月～	130,000	30,000	100,000	80,000	50,000	0
		10							
		1,000							
9	伝統継承プログラム カルチャー編 その2生花教室	一般	9月～	96,000	36,000	60,000	48,000	48,000	0
		10							
		1,000							
10	伝統継承プログラム カルチャー編 その3日本刺繍教室	一般	9月～	96,000	36,000	60,000	48,000	48,000	0
		10							
		1,000							
11	伝統継承プログラム カルチャー編 その4風呂敷を使おう	一般	9月	30,000	0	30,000	8,000	22,000	0
		20							
		1,500							
12	伝統継承プログラム マナー編 その1冠婚葬祭のマナー	一般	9月	10,000	0	10,000	10,000	0	0
		20							
		500							
13	マイクッキング 和食	一般	5月～	150,000	0	150,000	80,000	70,000	0
		15							
		1,000							
14	マイクッキング 洋食	一般	4月～	150,000	0	150,000	80,000	70,000	0
		15							
		1,000							
15	ライフスタイルアップ ステーション	一般	10月～3月	72,000	32,000	40,000	32,000	40,000	0
		10							
		1,000							
16	こくまのへや	0才～	4月～	36,000	36,000	0	36,000	0	0
		20							
		0							
17	子育て支援者による相談	0才～	4月～	5,000	5,000	0	0	0	5,000
		20							
		0							
18	親子でリトミック	0才～	4月～	120,000	0	120,000	120,000	0	0
		20							
		500							
19	親子でハグハグエアロビクス	0才～	4月～	120,000	0	120,000	120,000	0	0
		20							
		500							
20	絵本フェスティバル	0才～	7月 1週間	160,000	60,000	100,000	10,000	0	150,000
21	まいまいの人形劇	0才～	7月/12月	20,000	0	20,000	20,000	0	0
		20							
		500							
22	はじめてのクラシック	0才～	5月～	50,000	50,000	0	50,000	0	0
		20							
		0							
23	ママ楽	一般	5月～	95,000	57,500	37,500	50,000	45,000	0
		15							
		500							
24	一時託児	0才～	4月～	90,000	65,000	25,000	75,000	15,000	0
		10							
		500							
25	本牧キッズ 造形教室 鯉のぼりを作ろう	小学4年～	4月	25,000	15,000	10,000	20,000	5,000	0
		20							
		500							
26	本牧キッズ 造形教室	小学4年～	各休暇	90,000	30,000	60,000	30,000	60,000	0
		20							
		1,000							
27	本牧キッズ 料理教室	小学4年～	各休暇	51,000	24,000	27,000	24,000	27,000	0
		18							
		500							
28	本牧キッズ 夏休み ミュージカルレッスン	小学生～	夏休み	100,000	50,000	50,000	100,000	0	0
		10							
		1,000							
29	本牧キッズ ダンス教室	小学4年～	9月～	90,000	0	90,000	90,000	0	0
		15							
		1,000							
30	ほっとこむ 子どもの居場所	小学生～	5月～	0	0	0	0	0	0
		20							
		0							

	事業名	①募集対象	④実施時期	自主事業予算額					
		②募集人員	⑤回数	総経費	収入		支出		
		③一人当たりの参加費			委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
31	出張講座 地元企業、店舗による出張講座	一般	未定	0	0	0	0	0	0
		20							
		0							
32	地元発見散歩	一般	5月～	50,000	5,000	45,000	25,000	25,000	0
		18							
		500							
33	本牧桜まつり	一般	4月	70,000	70,000	0	50,000	20,000	0
		200							
		0							
34	本牧ハロウィン	一般	10月	30,000	30,000	0	0	30,000	0
		200							
		0							
35	本牧フリーマーケット	一般	3月	20,000	0	20,000	0	20,000	0
		20							
		1,000							
36	スポーツゴミ拾い	一般	未定	0	0	0	0	0	0
		20							
		0							
37	おもちゃの病院	一般	5月～	10,000	10,000	0	10,000	0	0
		20							
		0							
38	映画のつどい	一般	未定	200,000	200,000	0		200,000	0
		100							
		0							
	合計			2,957,000	1,074,500	1,882,500	1,852,000	945,000	160,000

## 24年度 自主事業計画書

本牧地区センター

24年度は下記のコンセプトに基づき事業計画を立案致しました。

- ① 一般事業 どんたでも参加出来、地域の要望に合致した趣味や健康、料理等に関する企画
- ② 子育て支援 子育て中の親子が孤立することなく地域の中でつながりを持ち、健やかな育児ができるよう支援
- ③ 子ども対象事業 主に小学生～中学生対象。親子で参加できる企画も含まれます。
- ④ 高齢者支援事業 年齢層の高い方々が、孤立することなく地域の中でつながりを持ち、かつ自立維持支援を図ります。
- ⑤ 地域との連携事業 地域の拠点としての役割の推進、また地域活性化を図るため様々な地域連携をはかります。

① 一般事業 及び ④ 高齢者支援を含む事業 (No. に○)			
	事業名	目的・内容	実施時期・回数
①	ポディーコンディショニング Aストレッチコース	健康が気になるというニーズに対応して、大勢で定期的に運動をする機会を作り、基礎体力の向上や参加者同士の交流を深め、団体行動に伴う運動習慣の定着を目的に行います。内容： マットを使用し、ゆっくりと身体のバランスを整える健康体操を実施します。	4月～ 12回
②	ポディーコンディショニング Bコース (スロー筋肉トレーニング)	健康が気になるというニーズに対応して、みんなで定期的に運動をする機会を作り、基礎体力の向上や参加者同士の交流を深め、団体行動に伴う運動習慣の定着を目的に行います。筋力等身体能力の維持や向上を図る初心者でも気軽に行えるエアロビクスを中心にゆっくりと高齢者でもできる運動を実施します。	4月～ 12回
③	ポディーコンディショニング Cコース(気功)	健康が気になるというニーズに対応して、みんなで定期的に運動をする機会を作り、基礎体力の向上や参加者同士の交流を深め、団体行動に伴う運動習慣の定着を目的に行います。呼吸法を核にした身体の内側からの健康をめざします。	4月～ 12回
4	本牧メンズスタイル	先年度に続き、若年からリタイア組までを含め、地域より運営委員をつのり、企画立案から参加者全員がかかわり事業展開をはかります。	4月～ 12回
5	異文化交流ステーション ①料理編	運営委員をつのり、韓国語や、中国語の初心者体験講座を開催したり、花見や日本文化の体験イベントを企画したりして、文化や考え方の違う他者から学んだり、他者へ自分の考えを発信する場を創出します。国際都市横浜として、区民の方の国際交流の支援を行います。今年度はまず様々な国の方々が講師に招き料理教室を開催。食文化の違いを学びながら交流を図ります。	5月～ 6回
⑥	ヴォイストレーニング	喉や体に負担がかからないように、姿勢を良くして体全体のバランスを保ち、楽しく歌うための発声方法を学びます。軽くストレッチの後、腹式呼吸などの基本練習、歌える身体(喉)作りを中心に行います。	4月～ 18回
⑦	シルバーエイジ革命 輝けるシルバーエイジハ	シルバー世代といわれる高齢者及び高齢予備軍対象事業。年齢だからとあきらめるのではなく、経験を重ねた者だからこそできる自分に自信をもってもらい、また新たな事にもチャレンジしていただく。講師自身が輝いている方による様々な教室を展開します。	6月～ 6回
8	伝統継承プログラム カルチャー編 その1 茶道教室	生活の中に根づいていながらその成立を知らず、ただ形だけになっている日本の文化、伝統がたくさんあります。そのような伝統文化を、あらためて基本からまなんでゆきます。	5月～毎月1回
9	伝統継承プログラム カルチャー編 その2 生花教室	生活の中に根づいていながらその成立を知らず、ただ形だけになっている日本の文化、伝統がたくさんあります。そのような伝統文化を、あらためて基本からまんでゆきます。	9月～6回
10	伝統継承プログラム カルチャー編 その3 日本刺繍教室	いまや、完全に贅沢品になってしまった着物や帯にほどこされた模様、その見事な芸術性を基本の日本刺繍から学びます。	9月～6回

24年度は下記のコンセプトに基づき事業計画を立案致しました。

- ① 一般事業 どんたでも参加出来、地域の要望に合致した趣味や健康、料理等に関する企画
- ② 子育て支援 子育て中の親子が孤立することなく地域の中でつながりを持ち、健やかな育児ができるよう支援
- ③ 子ども対象事業 主に小学生～中学生対象。親子で参加できる企画も含まれます。
- ④ 高齢者支援事業 年齢層の高い方々が、孤立することなく地域の中でつながりを持ち、かつ自立維持支援を図ります。
- ⑤ 地域との連携事業 地域の拠点としての役割の推進、また地域活性化を図るため様々な地域連携をはかります。

11	伝統継承プログラム カルチャー編 その4風呂敷を使おう	風呂敷はまさに日本の生活文化の象徴的な道具です。そんな風呂敷の現代ならではの使い方を学びます。	9月に1回
12	伝統継承プログラム マナー編 その1冠婚葬祭のマナー	いざというときにどうしたらいいのか分からない。恥ずかしい思いをしたくない。という方の不安を解消します。人生の節目、転機を迎えた際に役に立つ、難しくない、コツとポイントをつかんだ、実践的なマナー講座を行います。	9月に1回
13	マイクッキング 和食	通常の料理教室ではなく、参加者の独自性・協調性を生かした料理教室を開催。参加者自身がテーマ料理を企画することにより参加者の積極性を引き出すとともに、地域に求められるチームプレーを磨きます。また、積極性と協調性を持った「独創的なサークル」の創出を目指します。内容：「野菜ソムリエ入門」など、月毎に、旬のテーマ決定し、テーマに沿って、参加者独自の料理を協力して作成します。	5月から 10回
14	マイクッキング 洋食	通常の料理教室ではなく、参加者の独自性・協調性を生かした料理教室を開催。参加者自身がテーマ料理を企画することにより参加者の積極性を引き出すとともに、地域に求められるチームプレーを磨きます。また、積極性と協調性を持った「独創的なサークル」の創出を目指します。内容：「野菜ソムリエ入門」など、月毎に、旬のテーマ決定し、テーマに沿って、参加者独自の料理を協力して作成します。	4月から 10回
15	ライフスタイルアップ ステーション	テーブルコーディネート講座、フラワーアレンジメント講座、ファイナンシャルプランニング講座、エコライフプログラム他、家庭生活をうるおす講座の開催	10月～3月 4回
<b>② 子育て支援</b>			
16	こぐまのへや	絵本等の読み聞かせによって、母と子の楽しい時間を共有するとともに、乳幼児及びママ同士の交流の場を提供し、育児不安を取り除きます。プレイルームにおいて、絵本等の読み聞かせや、簡単な親子の運動などを行います。	4月から毎月 12回
17	子育て支援者による相談	出産前後の不安、子育てに関する様々な悩み等、将来の不安を取り除き、少子化対策の一助に努めます。	4月から 12回
18	親子でリトミック	歩けるようになった未就学児と親子が触れ合いながら、音感やリズム感、想像力等の感性を磨きます。	4月から 12回
19	親子でハグハグエアロビクス	親子が抱きしめ合ったりするふれあいが、そのまま運動になる教室を開催。子どもがいるから自分の身体のケアが出来ないと感じている親たちと、親からのケアを求めている子どものニーズに答えます。	4月から 12回
20	絵本フェスティバル	山手西洋館、中図書館その他中区の施設が連携して絵本を展示したり、講演会、読み聞かせ等関連事業を展開	7月

24年度は下記のコンセプトに基づき事業計画を立案致しました。

- ① 一般事業 どなたでも参加出来、地域の要望に合致した趣味や健康、料理等に関する企画
- ② 子育て支援 子育て中の親子が孤立することなく地域の中でつながりを持ち、健やかな育児ができるよう支援
- ③ 子ども対象事業 主に小学生～中学生対象。親子で参加できる企画も含まれます。
- ④ 高齢者支援事業 年齢層の高い方々が、孤立することなく地域の中でつながりを持ち、かつ自立維持支援を図ります。
- ⑤ 地域との連携事業 地域の拠点としての役割の推進、また地域活性化を図るため様々な地域連携をはかります。

21	まいまいの人形劇	人形劇を観賞し、感受性を豊かにするとともに、ボランティアサークルの活動を支援します。「人形劇サークルまいまい」による人形劇の上演し、わらべ歌を歌ったり、人形ダンスを演じます。また、人形にさわるコーナーを設けて、子どもたちとふれあいます。	7月、12月 2回
22	はじめてのクラシック	赤ちゃんから大人まで一緒に楽しめるコンサートを開催。	5月～ 5回
23	ママ楽	育児が楽しくなるような様々な講座を開催します。出来れば運営委員をつのって何が必要とされているのか考えながら進めます。	5月から 10回
24	一時託児	子どもがいて自主事業に参加できないという保護者の方を対象に、安心して自主事業に参加していただけるよう、一時託児を実施し、母子の社会参加の機会の創出を図ります。子育て支援ネットワークの保育士の方の派遣を想定しています。	4月～ 5回
<b>③ 子ども対象事業</b>			
25	本牧キッズ 造形教室 鯉のぼりを作ろう	大勢の子どもたちが一緒に一尾の鯉のぼりを作り、館内入り口に子どもの日まで展示します。	4月
26	本牧キッズ 造形教室	夏休み、冬休み、春休み各休みに開催	3回
27	本牧キッズ 料理教室	夏休み、冬休み、春休み各休みに開催	3回
28	本牧キッズ 夏休み ミュージカルレッスン	夏休みを利用して、子ども達とミュージカルを作ります	7月～8月 全10回
29	本牧キッズ ダンス教室	自由な身体表現が出来るようヒップホップダンスを中心に練習します	9月～ 6回
30	ほっとこむ 子どもの居場所	様々な子どもの課題に取り組んでいる「ほっとこむ」メンバーと共催。子どもの居場所づくりに協力します。	5月～ 6回

24年度は下記のコンセプトに基づき事業計画を立案致しました。

- |            |   |
|------------|---|
| ① 一般事業     | どなたでも参加出来、地域の要望に合致した趣味や健康、料理等に関する企画           |
| ② 子育て支援    | 子育て中の親子が孤立することなく地域の中でつながりを持ち、健やかな育児ができるよう支援   |
| ③ 子ども対象事業  | 主に小学生～中学生対象。親子で参加できる企画も含まれます。                 |
| ④ 高齢者支援事業  | 年齢層の高い方々が、孤立することなく地域の中でつながりを持ち、かつ自立維持支援を図ります。 |
| ⑤ 地域との連携事業 | 地域の拠点としての役割の推進、また地域活性化を図るため様々な地域連携をはかります。     |

⑤ 地域との連携事業			
31	出張講座 地元企業、店舗による出張講座	地元企業が社会貢献活動の一環として実施している食育啓蒙活動をサポートするとともに、地域住民の方に食育について真剣に考える場を提供し、取り組みきっかけを創ります。地元企業が研究を重ねた馴染み深い食材について、栄養価や作成工程等を分かりやすく講義します	3回
32	地元発見散歩	本牧地区及び中区を散策し、本牧を中心に中区の歴史や地形を学びます。また、地域の住人の交流の場を設けます。内容:「中区公園ウォッチング」他6回に分けて、本牧中区地区を散策し、歴史、形、地域の商店街、名物、名所などを楽しみながら歩きます。新規住人の方にもわかりやすいように資料を作成し、地域交流がスムーズにいよいよに工夫します。中区役所、山頂公園共催	5月～ 5回
33	本牧桜まつり	山頂公園を初めとして、地域の様々な施設と共催。 桜の咲く季節に、地域が一丸となって地域の活性化を図ります。	4月 1回
34	本牧ハロウィン	10月31日ハロウィンの夕方に、地域と連携して衣装した子どもや大人もたちが御菓子をを集めながら色々な施設をまわるスタンプラリーを開催。	10月 1回
35	本牧フリーマーケット	地域住民の自主的な活動の場として、フリーマーケットを開催し、販売のやり取りや会話を通して、地域交流を深めます。内容: 体育室に20の販売ブースを設置し、販売希望者を公募します。また、当日の来館者数を確保する為に、連携団体による目玉イベントの開催や広報をお願いします。	3月に1回
36	スポーツゴミ拾い	スポーツゴミ拾いを地区センター周辺で開催し、参加者同士が楽しみながらスポーツとしてごみ拾いを行い、参加者の環境に対する意識向上を図ります。作業で出た雑草などは堆肥として地区センターの植栽等に活用します。	2回
37	おもちゃの病院	物の仕組みを知ることにより、物づくりのすばらしさや難しさを理解し、物を大事にする心を育みます。ボランティアがおもちゃの壊れた箇所や理由を質問し、幼児から小学生が使うおもちゃを無料で修理します。その場で修理できないものはお預かりして、後日、地区センターで修理した物を返却します。修理は「中区おもちゃのドクターネットワーク」にご協力頂きます	5月～ 3回
38	映画のつどい	普通の劇場で公開されている興行作品ではなく、自主上映などの作品で、地域拠点としての施設が上映する意味のある作品を選び、体育室や音楽室等で上映し、その感想を述べ合うなど、地域の交流も図ります。	年2回

団体名	株式会社 清光社
施設名	横浜市本牧地区センター

## 平成24年度収支予算書(総括表)

### 1 収入の部

項 目	合計金額 (単位:千円)	備 考
利用料金収入 [A]	4,200	
自主事業収入 [B]	1,879	
雑入 [C]	876	
小 計 【ア】([A]~[C])	6,955	施設運営収入の計
指定管理料① [D]	19,362	【ウ】-【ア】
指定管理料②(ニーズ対応費分) [E]	1,400	[A] × 1/3
小 計 【イ】([D]+[E])	20,762	指定管理料の計
収入合計 ([ア]+【イ])	27,717	

### 2 支出の部

項 目	合計金額 (単位:千円)	備 考
人件費 [a]	18,857	
事務費 [b]	993	
自主事業費 [c]	3,017	
管理費A(光熱水費等) [d]	180	
管理費B(保守管理費等) [e]	1,090	
公租公課 [f]	900	
事務経費 [g]	1,280	
小 計 【ウ】([a]~[g])	26,317	施設管理運営経費の計
ニーズ対応費 [h](=[E])	1,400	[E]と同額になります。
小 計 【エ】([h])	1,400	ニーズ対応費の計
支出合計 ((ウ)+【エ])	27,717	

※金額は、消費税及び地方消費税込みの額を記載してください。

団体名	株式会社 清光社
施設名	横浜市本牧地区センター

## 平成24年度収支予算書

### 1 収入の部内訳(指定管理料除く)

(単位:千円)

	項目	内容等	金額	
利用料金収入	利用料金		ア 4,200	
			イ	
			ウ	
			エ	
			オ	
			カ	
			キ	
			ク	
			ケ	
		小計		[A] 4,200
自主事業収入	自主事業	自主事業計画書	コ 1,879	
		一般事業、子育て支援、子ども対象事業	サ	
		高齢者支援事業、地域との連携事業	シ	
			ス	
			セ	
		小計		[B] 1,879
雑入	印刷代	コピー機使用料	ソ 180	
	自動販売機手数料	飲料用自動販売機	タ 660	
	その他	公衆電話等	チ 36	
			ツ	
			テ	
			ト	
		小計		[C] 876
小計 【ア】		施設運営収入計	6,955	[A]～[C]

※金額は、消費税及び地方消費税込みの額を記載してください。



団体名	株式会社 清光社
施設名	横浜市本牧地区センター

## 平成24年度収支予算書

### 2 支出の部内訳(ニーズ対応費除く)

(単位:千円)

	項目	内容等	金額	
人件費	常勤職員	館長×1名、職員×2名	ア 9,780	
	時給スタッフ	4hパート×12名、3hパート×2名	イ 9,077	
			ウ	
	小計		[a] 18,857	ア～ウ
事務費			[b] 993	
自主事業費			[c] 3,017	
管理費A	電気料金	自動販売機電気料金 他	エ 180	
	ガス料金	中図書館にて負担	オ 0	
	上下水道料金	中図書館にて負担	カ 0	
	小計		[d] 180	エ～カ
管理費B	修繕費		キ 1,000	
	清掃		ク 90	
	消防設備		ケ 0	
	機械警備		コ 0	
	空調設備		サ 0	
	エレベーター		シ 0	
	自動ドア		ス 0	
	電気保守管理点検		セ 0	
	非常用放送設備		ソ 0	
	害虫駆除		タ 0	
	植栽管理		チ 0	
	設備総合巡視点検		ツ 0	
			テ	
			ト	
小計		[e] 1,090	キ～ニ	
公租公課			[f] 900	
事務経費	(労務、経理、契約、職員研修など)		[g] 1,280	
小計【ウ】	施設管理運営経費計		26,317	[a]～[g]

※金額は、消費税及び地方消費税込みの額を記載してください。

(各内訳には課税取引分の消費税及び地方消費税額を含んだ金額を記載、公租公課欄には仕入税額控除後の見込額を計上)